



じゃがいもずきん  
「ききぼう」くん

# 防災ワンポイント 第44回 風についての知識

道路脇や開けた平坦地に雪が積もっている場合は、「地吹雪」に十分警戒する必要があります。「地吹雪」は降り積もった雪が風によって飛ばされる現象で、瞬間的な視程障害や局所的な吹き溜まりを引き起こすため、とても危険です。そのため冬を安全に過ごすためには、雪だけではなく、風の情報も得ることがとても重要です。

今回は、暴風雪警報（風雪注意報）発表基準など、風の予報に関する情報をご紹介します。

## ●風雪注意報、暴風雪警報の発表基準

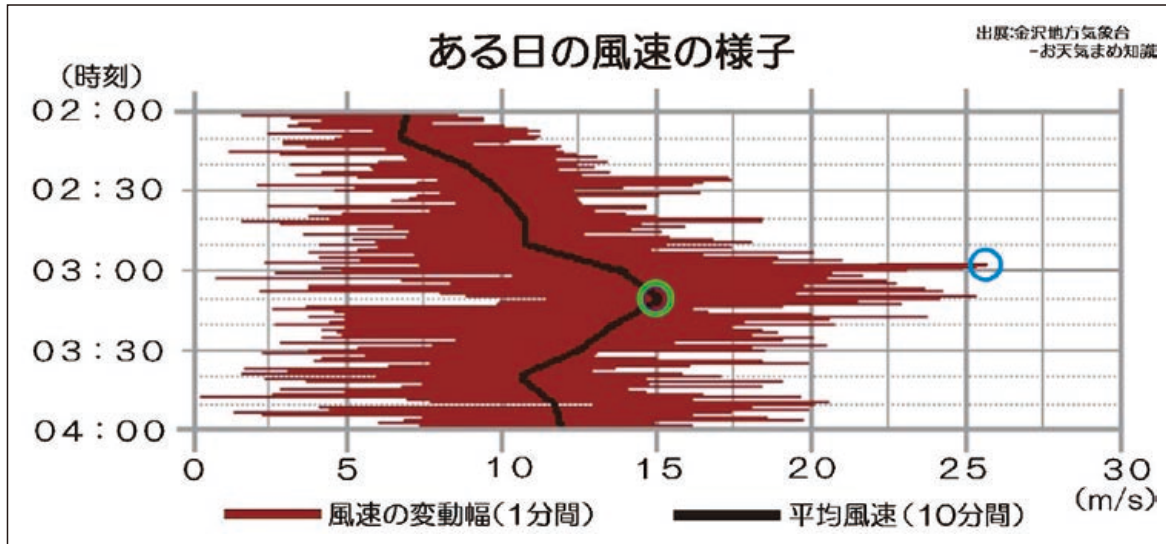
風雪注意報は、雪を伴う強風により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。さらに、「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる災害」のおそれについても注意を呼び掛けます。また、暴風雪警報は、風雪注意報よりも重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。

中標津町の風雪注意報・暴風雪警報の発表基準は以下のとおりです。外出の際には雪や風の情報を入手するようにし、このような注意報・警報が発表されている場合には、外出を控えるなどの対策を取りましょう。

	風雪注意報	暴風雪警報
発表基準	平均風速が10m/s以上 かつ 雪による視程障害を伴うとき	平均風速が18m/s以上 かつ 雪による視程障害を伴うとき

## ●いろいろな『風速』の意味

気象庁の予報では、『風速』についていくつかの用語を使い分けています。手に入れた予報・情報を正確に理解するためにも、いろいろな『風速』の意味を改めて確認しましょう。



用語	意味	上図でいうと
平均風速	ある時間帯（10分間）に吹いた風の風速の平均値	太黒線
最大風速	ある期間の平均風速の最大値	緑丸部（15.1m/s）
瞬間風速	ある瞬間（3秒間）に吹いた風の風速の平均値	無数にあるため表せない
最大瞬間風速	ある期間の瞬間風速の最大値	青丸部（25.7m/s）

上の図は、ある日の02:00から04:00の風速をグラフにしたものです。赤いギザギザの線は、1分間の風速の変動幅を表しています。

この図からは、『02:00から04:00の期間中、平均風速は徐々に強まり、03:00から03:10にかけて最大風速15.1m/s、02:50から03:00の間に最大瞬間風速25.7m/sを記録した』と説明できます。

## ○ 注意点 ○

一般的に、瞬間風速は平均風速の1.5倍から3倍に及ぶことがあります。上の図の例でも、最大瞬間風速は、その期間の平均風速のおよそ2倍に達しています。

暴風雪警報（平均風速18m/s以上）が発表されている時はもちろんですが、風雪注意報（平均風速10m/s以上）が発表されている時も、瞬間的に25m/s以上の風が吹く場合がありますので、十分注意しましょう。

詳しくは、総務課 防災係まで。